

しき緑96号

～糖度が高く茎までやわらかい～

<品種特性>

- ・ 糖度 12 度を超えるおいしさ（花蕾のすぐ下の茎部分／栽培時期 1～3 月頃・方法による）と茎までやわらかく食べられることが最大の特長です。
- ・ 花蕾は濃緑の締まりのよいドーム型で、ボリューム感があります。
- ・ 草姿が立性で側枝が少ないので、密植ができて中耕等の機械作業にも適しています。
- ・ 適応性が広く、高温や低温でも安定した栽培ができる品種です。
- ・ アントシアンレスタイプなので紫が出る心配はありません。
- ・ 四国・九州ではブランド販売をしている産地もあります。



<栽培時期>

- ・ 中間地では、は種は 8 月上中旬～8 月中下旬、収穫は 11 月下旬～1 月中下旬までが適期ですが、土地の条件によって異なります。詳しくは下の作型図を参考にしてください。

<栽培要点>

- ・ 根が強い吸肥力を持つので、多肥栽培では病害が出やすくなります。リン・カリウムを控えめにし、苦土（マグネシウム）を積極的に施用して下さい。
- ・ 肥料のバランスをとり、ゆっくり効く有機質肥料（発酵鶏糞等）を使用すれば病害（組織内ベト病）等が出にくくなりますので、全栽培期間を通して速効性の肥料は使用しない様にして下さい。
- ・ 他の品種に比べて草勢が小さいですが、花蕾は充分大きくなります。草勢を大きくしすぎると花蕾が乱れたり、病虫害が発生しやすくなります。
- ・ 水害にやや弱いので、多湿のところを避けて水はけの良い畑で作ってください。

— 作 型 図 —

地 域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道 高冷地 冷涼地							●●	🌱			■	
中間地	■							●●	🌱			■
暖地	■	■						●	🌱	🌱		■

● は種 🌱 定植 ■ 収穫